

# 平成30年度 事業報告

社会福祉法人 つるぎ町社会福祉協議会

## 法人運営部門

法人全体の管理・他の部門が事業を遂行しやすい環境をつくる

### 【組織管理】

#### 1 会員の募集

法人の目的に賛同していただいた方に、1口500円の会費を募る。また、集められた会費は地域福祉活動に有効活用する。

- ア. 一般会員 4, 301戸 (貞光1,992戸・半田1,854戸・一字455戸)
- イ. 特別会員 28名 (理事11名・監事2名・評議員15名)

#### 2 理事会・評議員会の開催

開催概要	審議内容
<b>第1回 理事会</b> 日時 平成30年5月25日 場所 地域拠点センター 参加者 理事 8名 監事 2名	専決処分の承認について (平成29年度 補正予算 (第3号) ) 専決処分の承認について (生活困窮者一時立替金の支出) 組織規程の一部を改正する規程について 就業規則の一部を改正する規則について 給与規程の一部を改正する規程について 職員のセクハラ防止に関する規程の一部を改正する規程について 平成29年度 事業報告及び収支決算の承認について (監査報告) 平成30年度 補正予算 (第1号) について 平成29年度 社会福祉活動助成完了報告の承認について 評議員会の開催日時及び場所、議題 (案) について
<b>第1回 評議員会</b> 日時 平成30年6月21日 場所 地域拠点センター 参加者 評議員 11名 監事 1名	専決処分の承認について (平成29年度 補正予算 (第3号) ) 平成29年度 事業報告及び収支決算の承認について (監査報告) 平成30年度 補正予算 (第1号) について

<b>第2回 理事会</b> 日 時 平成30年9月25日 場 所 地域拠点センター 参加者 理事 10名 監事 2名	専決処分の承認について（生活困窮者一時立替金の支出） 職務執行状況報告 第2期発展・強化計画（2018年度～2020年度）について 第14回つるぎ町社会福祉大会について
<b>第3回 理事会</b> 日 時 平成31年3月12日 場 所 地域拠点センター 参加者 理事 8名 監事 2名	専決処分の承認について（生活困窮者一時立替金の支出） 専決処分の承認について（平成30年度補正予算（第2号）） 職務執行状況報告 平成31年度 事業計画及び予算の承認について 平成31年度 社会福祉活動助成の承認について 第2回評議員会の開催日時及び場所、議題（案）について
<b>第2回 評議員会</b> 日 時 平成31年3月26日 場 所 地域拠点センター 参加者 評議員 14名	専決処分の承認について（平成30年度第2回補正予算） 第2期発展・強化計画（2018年度～2020年度）の承認について 平成31年度 事業計画及び予算の承認について 理事の選任について

### 3 発展・強化計画の進捗管理及び見直し

本会の事業運営・経営のビジョンや目標を明確にした中期の改革・戦略計画である発展・強化計画は、第1期（平成27年度～平成29年度）計画の期間終了を受けて、第2期（2018年度～2020年度）計画を策定した。

## 【財務管理】

### 1 監査の実施

実施名	実施内容	実施月日及び場所	参加人員
定期監査	・4月、5月、6月、7月分社会福祉事業（合計）	平成30年8月24日 地域拠点センター	監事 2名
定期監査	・8月、9月、10月、11月分 社会福祉事業（合計）	平成30年12月12日 地域拠点センター	監事 2名
定期監査	・12月、1月、2月、3月分 社会福祉事業（合計）	令和元年5月14日 地域拠点センター	監事 2名
決算監査	・平成30年度の4月～3月分 社会福祉事業（合計） ・平成30年度の事業報告及び会計決算	令和元年5月14日 地域拠点センター	監事 2名
一般指導 監査	・平成29年度 事業業務及び会計業務	平成30年11月1日 地域拠点センター	徳島県西部 県民局 2名 町福祉課1名

## 【広 報】

### 1 町広報誌等を活用した情報提供

町広報誌「広報つるぎ」に掲載または同封。IP告知放送サービスを活用し、各種イベントの案内や事業に関する情報提供を実施した。

### 2 ホームページによる広報

本会が行う福祉活動や幅広い福祉の情報を周知するため、ホームページにより情報を公開すると共に事業内容等の情報を発信している。

## 地域福祉活動推進部門

### 住民がしあわせに暮らせるよう地域の課題解決を図る

## 【個を地域で支える援助】

### 1 ひとり暮らし高齢者安心事業

地域で孤立するおそれのあるひとり暮らし高齢者世帯に対して、安心生活訪問員を置き、定期的な訪問による見守り、安否確認、生活に必要な情報の提供等を行うことにより、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりを目的に実施。

#### ■ 平成31年3月末現在

訪問対象者数 608名（半田 222名・貞光 261名・一字 125名）

延べ訪問件数 8,686件（半田1,997件・貞光3,317件・一字3,372件）

■ 要対処相談件数 合計168件（半田 57件・貞光 60件・一字 51件）

相談事項	不安解消	介護サービス	健康医療	家計経済	家族関係	社会関係	権利擁護	その他	合計
	34	53	30	14	3	18	0	40	192
対応策	個人	家族	地域住民	民生委員	民間会社	公的機関	行政	社協訪問員	合計
	6	9	11	6	25	15	78	97	247

## 2 みんなに安心お届け事業

安心お届け専門員不在により定期訪問は行えなかったが、地域住民や民生委員からの情報・相談に訪問して状況を確認。医療機関への受診の働きかけや介護サービスの利用、関係機関へつなぐことで生活上の課題について解決を図った。

## 3 生活困窮者自立支援事業（委託元：徳島県社会福祉協議会）

徳島県社会福祉協議会より相談支援員を配置。経済的に困窮している方や何らかの悩みを抱えている方の相談に応じ、解決を図るため相談者と共に目標を立て、支援・助言を行った。緊急の際には支援物資の提供・生活支援、家計相談による生活の安定・自立を促進、また関係機関との連携によるチーム体制で問題解決を図った。

○相談件数 24件 （相談内容）収入・生活費 22件  
病気・障害 12件  
債務（税・家賃・ローン）10件  
住まい 3件  
ひきこもり 1件  
不安解消 2件

※相談内容は重複しており累計となります。

## 4 顔なじみ見守りネットワーク事業

地域住民と接することの多い民間事業者と、見守りネットワークを構築し、異変等を発見したときに迅速に対応できる体制を確保することで、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように支援することを目的に実施。

○ 協定締結業者数 25社

○ 相談件数 2件

対象者	ひとり暮らし高齢者	母子世帯
件数	1件	1件
相談内容	体調不良 1件	生活状況 1件

## 5 安心カプセル配布事業

ひとり暮らし高齢者等に対して、災害時・緊急時に必要な情報を保管する安心カプセルを配布し、ひとり暮らし高齢者等が安心して、地域で生活できることを目的に実施した。

申請件数 2件  
設置件数 2件  
累積設置件数 584件

## 6 配食（給食）サービスへの助成

各地域のボランティアが実施し、地域住民に対して手作り弁当を自宅に配達、その際声かけによる安否確認を行った。

開催地区	日程（人数）
東南・長瀬	4/7（66）

計1地区 1回 66人

## 7 子育てサポート事業

ファミリーサポート事業は美馬市が実施主体となり、協体制をとっていたが、本会が直接関わることはなかった。つるぎ町の利用実績は10件だった。

## 8 スポーツ・レクリエーション教室開催等事業（委託元：つるぎ町地域生活支援事業）

障害者総合支援法に規定する障がい者等の体力増強や交流に資するため、及び障がい者スポーツを普及するために開催した。

### （1）第12回つるぎ町障がい者スポーツ大会

障がいのある方が競技等を通じスポーツの楽しさを体験するとともに、体力の維持増強を図り、自立と社会参加の推進に寄与することを目的に実施。

開催日 7/15（日）  
開催場所 貞光中学校体育館  
参加者 大会参加者計113名

### （2）日帰り研修

障がい者の交流と社会的な生活能力の向上を図ることを目的に実施

研修日 12/8（土）  
研修場所 ルネッサンスリゾートナルト・渦の道（鳴門市）  
参加者 27名  
障がい者16名、付添4名、保健師1名、社協職員5名、ヘルパー1名（訪問介護事業所ひばり）

## 9 地域における公益的な取組

清寿会と協働し、町内の地域福祉にかかる将来的な展望を共有したうえで連携を行い「心豊かに住み続けたい町つるぎをめざして」だれもが自分らしく安心して暮らせる地域づくりのため、地域福祉活動の支援、福祉の増進に寄与することを目的に地域で無料の出張講座を実施。

### ◇出張講座実績

開催日	地区	団体名	出張講座内容	派遣人数
4.20	半田	久保老人会	映画会	清寿会1名・社協1名
5.13	一字	葛籠・桑平いきいきサロン	リハビリ体操	清寿会2名・社協2名
5.18	半田	西部地区いきいきサロン	レクリエーション・体操	清寿会2名・社協2名
6.15	半田	逢坂地区いきいきサロン	レクリエーション・体操	清寿会2名
7.26	貞光	竹屋敷いきいきサロン	認知症講座・介護の話	清寿会2名・社協1名
3.7		つるぎ町老人クラブ連合会	映画会	清寿会2名・社協1名

・いきいきサロン担い手交流会において、連携協定に基づく出張講座のPR

## 【個を支える地域をつくる援助】

### 1 いきいきサロンの支援・拡充

住み慣れた地域で元気に暮らせるために、気軽に出かけられ、地域の人とふれあいながら楽しむ仲間づくりの場として行うことができている。定期的に訪問し、地域の問題を把握することに努め、各関係機関に繋げることができたが、地域の高齢化、衰退により、いきいきサロンの拡充までには至らなかった。

いきいきサロン活動（半田地域 14カ所、貞光地域 21カ所、一字地域 9カ所）

#### ・第13回いきいきサロン担い手交流会

日 時：3/20（水）

場 所：つるぎ町地域拠点センター 大会議室

内 容：栄養指導・介護保険制度や利用に関する勉強会

参加者：16地区 38名

#### ・第35回「老後を豊かにするボランティア活動資金」の推薦

3地区いきいきサロン決定

## 2 地域懇談会及びふれあい給食会

常会（自治会）活動の活性化や地域交流のきっかけをつくる支援を行い、地域の絆を強める。  
また、その中でふれあい給食会や参加できなかった人に対する配食活動をした場合、1食あたり400円の助成。

地域懇談会（ふれあい給食会）の開催（27地区、延べ43回開催）地域懇談会やサロン活動を通じて、地域内でのネットワークづくりを支援するとともに、地域のニーズを把握し、社協の事業活動に結びつけている。

平成30年度地域懇談会（ふれあい給食会）の開催状況

### ○ 半田地区（順不同）

計 10地区 15回 527人

開催地区	日程（人数）	開催地区	日程（人数）
上蓮	4 / 19 (26)	逢坂	10 / 21 (55)、1 / 20 (35)
木ノ内南	7 / 1 (25)	西部	10 / 31 (28)、12 / 17 (28)
小野上西	7 / 8 (80)、10 / 14 (27)	高清	1 / 27 (26)
日浦	10 / 13 (28)、3 / 9 (30)	上喜来	4 / 22 (24)、10 / 20 (24)
東南・長瀬	10 / 26 (76)	敷地	3 / 2 (15)

### ○ 貞光地区（順不同）

計 11地区 17回 472人

開催地区	日程（人数）	開催地区	日程（人数）
太田	4 / 3 (50)、9 / 16 (43)	大泉	6 / 1 (15)、10 / 1 (16)
宮内	4 / 8 (16)、11 / 25 (20)	平野	7 / 1 (19)
三木枋	5 / 16 (15)	広瀬	7 / 1 (30)
長瀬	5 / 16 (35)	吉良	11 / 25 (42)、3 / 16 (41)
皆瀬、井折、竹屋敷	5 / 17 (58)、7 / 26 (25)	日浦	9 / 15 (13)、1 / 20 (19)
浦引	5 / 20 (15)		

### ○ 一字地区（順不同）

計 6地区 11回 329人

開催地区	日程（人数）	開催地区	日程（人数）
葛籠・桑平	4 / 15 (17)、8 / 24 (18)	奥大野、広沢、川又	9 / 10 (71)、3 / 10 (65)
須貝瀬	4 / 30 (17)、9 / 24 (18)	赤松	10 / 8 (37)、3 / 8 (40)
一字	7 / 4 (10)、10 / 25 (10)	明谷	3 / 8 (26)

### 3 地域福祉活動計画の推進

第3期地域福祉活動計画（平成30年度～5年間）は、一宇応能地区をモデル地区として策定し、小学校区の範囲での活動を進めているが、次の地区の選定が難しく、他の地区へ波及させるところまでには至っていない。

### 4 福祉推進委員との連絡調整

年度末に地区会活動報告書を提出してもらった際、福祉推進委員（駐在員に委嘱）の役割について、再確認してもらった機会として、地区の活動状況や現状を報告してもらった。

具体的な課題については、関係機関に連絡した。

地域課題	少子高齢化	空き家	防災	鳥獣被害	道路	地域行事	環境	その他	合計
	8	2	5	9	13	14	25	5	81

### 5 全町一斉河川・道路清掃

地域が一緒に活動することにより、住民同士の絆を深めることを目的として実施しているが、高齢化が進み作業が負担になっている地域がある。

（清掃内容：河川清掃、道路の草刈り、集会所周辺の清掃等）

日 時：7/1（日）

可燃ゴミ 1,360 kg、不燃ゴミ 700 kg 合計 2,060 kg

### 6 社会福祉大会の開催

地域住民や福祉関係者が一堂に会し、表彰を通じて地域で行われる活動を広く知らせるとともに、講演等を通じて、情報提供、福祉課題への気づき、地域活動の契機とした。

#### 第14回 つるぎ町社会福祉大会

開催日 10/27（土）・開催場所 貞光中学校体育館

参加者数 約440名

主 題 心豊かに住み続けたい町つるぎをめざして

表彰者 大会長表彰4名・大会長感謝状13名・ダイヤモンド婚8組・金婚12組

記念講演 「この国の行方」 日本の在るべき姿

講 師 櫻井 よしこ 氏（ジャーナリスト）



## 【ボランティアセンター事業】

ボランティア活動の推進機関として、幅広く理解を進めるため、研修会や講演会を開催。また活動中の事故等を保障するため、ボランティア活動保険の手続きを行うなど、活動の支援を行った。

### 1 ボランティアセンター運営委員会の開催

#### 【第1回】 5 / 21 (月)

平成29年度事業報告及び決算について (監査報告)  
役員改選について  
平成30年度事業計画及び予算 (案) について

#### 【第2回】 10 / 15 (月)

災害時の地域ボランティアの育成について

#### 【第3回】 2 / 13 (水)

災害時地域ボランティア研修会・災害時図上訓練実績報告  
センター登録に係る会員名簿及び提出について  
来年度事業について

### 2 ボランティアセンター登録数

- ・ 派遣 135件、477名 (派遣延べ人数)
- ・ 登録 個人8名、団体90団体

### 3 教育事業

第14回ジュニアボランティア『寺子屋』の実施 (対象：貞光中学校1年生41名)

#### 【1日目】 8 / 20 (月) 基本的事項の理解と知識・技術の習得

内容：「ボランティア講座」～手話体験をとおして～、  
「体験学習」アイマスク・高齢者疑似体験、車椅子体験

#### 【2日目】 8 / 21日 (火) 実地体験

内容：施設の見学、入所者とのふれあい・レクリエーション

#### 出張福祉講座

5 / 25	車イス・アイマスク・高齢者疑似体験	(場所：半田中学校、対象：1年生)
11 / 2	アイマスク体験	(場所：貞光小学校 対象：4年生)
11 / 9	車イス体験・高齢者疑似体験	(場所：貞光小学校 対象：4年生)

### 4 活動援助

- ・ ボランティア団体への場所 (会議室) の提供を行い、円滑に活動が行えるよう活動の支援を行った。

## 5 広報啓発

- ・ ボランティア活動の普及向上のための広報啓発活動として、ボランティアセンターだより「しあわせのかけはし」を年2回発行。  
(内容：町内ボランティアグループの紹介・各種福祉講座の案内、イベント情報紹介など)

## 6 災害救援ボランティア事業

### 研修会の開催

- ・ 平成30年度つるぎ町を良くする活動助成事業（共同募金配分金）  
日 時：12/2（日）  
場 所：つるぎ町地域拠点センター 大会議室、一字老人福祉センター  
講 師：認定特定非営利活動法人NPO高知市民会議 理事 山崎 水紀夫 氏  
講 演：「被災地支援報告と災害ボランティアセンターの役割」  
参加者：84名 企業：8社 自主防組織：5人  
登 録：企業8社・ボランティア団体10団体
- ・ 平成30年度つるぎ町地域防災セミナーの開催（つるぎ町民生委員児童委員協共催事業）  
日 時：3/10（日）  
場 所：つるぎ町就業改善センター 大会議室  
講 師：認定特定非営利活動法人NPO高知市民会議 理事 山崎 水紀夫 氏  
演 題：「災害時配慮者支援を学ぶ～2019年の被災地支援で見えてきた課題～」  
参加者：136名

## 【団体運営支援及び協力】

### 1 手をつなぐ育成会

会員及び会費を町内全戸募集、賛助会費収入実績 910,200円(3,034戸)  
お寄せいただいた会費をもとに、知的障がい（児）者の福祉事業として、町内小・中学校特別支援学級、町内地域活動支援センター（ハッピースマイル・すだち苑）への支援並びに年末在宅激励訪問や障がい者スポーツ大会開催時等に使用させていただいた。

### 2 共同募金委員会

徳島県共同募金会より依頼され、つるぎ町共同募金委員会を事務局として支援すると共に、つるぎ町共同募金委員会より助成を受けて、事業経費の一部として使用させていただいた。

#### (1) 地域歳末配分助成金

- ア. ひとり暮らし高齢者等年末訪問の見舞品費（カイロ）
- イ. 防災・災害対策用品の整備費

### 3 献血活動への協力

町内で実施される献血活動の連絡調整に協力

8 / 30	つるぎ町役場分館前 (9:30 ~ 12:30、13:30 ~ 15:30)
	400ml 43名 不採血者数 9名
2 / 21	つるぎ町役場分館前 (9:30 ~ 12:30、13:30 ~ 15:30)
	400ml 36名 不採血者数 8名

### 4 その他各種団体への支援

シルバー人材センター、身体障害者連合会、遺族会連合会など、各種団体、関係機関との支援、連携を行った。

## 【団体活動への助成事業】

#### 1 団体への助成 (財源: 社会福祉基金事業)

ア. 助成申請	5件	474,700円
イ. 助成決定	5件	474,700円 (平成30年3月12日 理事会で承認)
ウ. 実施報告	5件	445,700円

#### 2 団体への助成 (財源: 善意銀行事業)

善意の心を有効に活用することを心掛けてきた

払い出し種類	件数	備考
指定払い出し	1	
福祉活動に使用	2	敬老ハガキ 声の広報 (CDレコーダー)
中学校への払い出し	1	文集作成一部助成
特別払い出し	1	西日本豪雨災害支援
物 品	2	スタッドレスタイヤ 軽自動車 1台
合 計	7	

福祉事業に理解をもって預託いただいた善意の心

寄 附 の 種 類	件 数
一般寄附金預託	2
指 定 寄 附	1
スタッドレスタイヤ 軽自動車 1台 布団・衣服	4
合 計	7

## 個人に寄り添い、個人が生活のしづらさを解消するための援助

### 【総合相談】

#### 1 専門職による相談

##### ア. 弁護士相談

予約相談 計 5回 開催 相談件数13件

##### イ. 司法書士相談

予約相談 計10回 開催 相談件数18件

##### ウ. 理学療法士相談

月1回 計12回 開催 相談件数66件（内、新規7件）

### 【生活支援】

#### 1 日常生活自立支援事業（委託元：徳島県社会福祉協議会）

知的障がい者2名、精神障がい者1名の計3名の利用者が契約終了となった。

1名（知的障がい者）は成年後見制度への移行。1名（知的障がい者）は病死。1名（精神障がい者）は新規契約者だったが事故死により、それぞれ契約終了となった。

支援者からの問い合わせや、初回相談はあるが、本人の事業に対する利用意思が見られず契約に至らないケースや、判断能力によって契約に至っていないケースがあった。

・契約件数 9件 （3月末 現在）

（内訳）認知症高齢者 3名、知的障がい者2名、精神障がい者 3名、その他 1名

#### 2 福祉用具、福祉車両、レクリエーション用具の貸与事業

老朽化により本体が破損した為、車椅子4台、特殊寝台1台を廃棄した。又、現在保有している貸与物品も老朽化により貸与に対応できなくなる可能性がある為、購入を検討する必要がある。

福祉用具（車イス、特殊寝台） 22件

福祉車両（車イスを搭載できるもの） 4件

レクリエーション用具（カラオケ、わたがし機等） 19件

### 3 チャイルドシート貸出事業

新生児から6歳児を対象に無償貸出、つるぎ町全域から需要があった。

BCタイプ52台（内2台は延滞中）が、耐用年数を迎えた為BCタイプ50台を廃棄し、46台を購入した。又、3月にはBCタイプ在庫不足の為、5台を追加購入した。今後も2年ごとに耐用年数を迎える状況にあり、多額の費用が必要となる為、事業方針について検討する必要がある。

チャイルドシート貸出事業（新生児から6歳児を対象に無償貸出、つるぎ町全域から需要があった。）

■ 種類（BC：新生児～3歳 J：3歳～6歳）

	BC	J
貸付中	83台	43台
在庫	7台	14台

### 4 点字・声の広報等発行事業（委託元：つるぎ町地域生活支援事業）

つるぎ町に居住する視覚障がい者に対し、情報取得の手段として、つるぎ町広報誌および暮らしのカレンダーをつるぎ町たまゆら友の会が朗読してカセットテープに録音し、郵送または配付した。

（1）対象者 4名（3月末現在）

## 【個人への資金援助】

#### 1 生活福祉資金貸付事務事業（委託元：徳島県社会福祉協議会）

新規申請は、0件であった。

また、償還1件、延滞利子免除1件により、貸付件数は19件となった。

本会は、社会福祉基金（生活困窮者一時立替金）で小口貸付（上限10万円）が可能であるため、生活福祉資金の新規申請に至らないことが多い。

平成30年度 生活福祉資金貸付・償還状況

資金種類	H30年3月 までの 貸付件数	H30年度 貸付件数	償還 件数	延滞利子 他免除件数	現在 貸付件数
総合支援資金	0	0	0	0	0
生活支援費	0	0	0	0	0
福祉資金	7	0	0	1	6
更正資金	3	0	0	0	3
障害者更正資金・生業費	1	0	0	0	1
障害者更正資金・生技能習得費	0	0	0	0	0
住宅資金	2	0	0	1	1
障害者自動車入資金	0	0	0	0	0
冠婚葬祭費	0	0	0	0	0
就職等支度費	1	0	0	0	1
緊急小口資金	0	0	0	0	0
教育支援資金	14	0	1	0	13
教育支援費	6	0	1	0	5
就学支度費	8	0	0	0	8
合計	21	0	1	1	19

2 生活困窮者一時立替金（財源：社会福祉基金）

つるぎ町に居住し、公的保護または補助などを受けておらず、生活に困窮していると認められる者に対して生活費の一時立替を行う。

(1) 生活困窮者に対する金銭の一時立替

- ア. 一時立替 4件 340,000円（平成30年度中の実績）
- イ. 償還済額 27件 338,000円（平成30年度中の実績）
- ウ. 償還残額 32件 1,559,500円（累計：平成31年3月末現在）

3 災害等被災見舞金（財源：社会福祉基金）

対象となる災害等被災見舞金 0件

4 小規模災害見舞金の交付（財源：善意銀行）

対象となる小規模災害見舞金 0件

5 日常生活用具貸与料金等助成

## 在宅での生活を継続していけるように支援する

### 【介護サービス】

#### 1 居宅介護支援事業（ケアマネージャー）

ケアマネージャーによる、訪問調査（年間計 78 件）及び毎月ケアプランの作成（約 55 件／月）、予防計画（町委託約 21 件／月）、住宅改修支援を実施。

#### 2 訪問介護事業（ホームヘルパー）※件数は3月末実績

常勤ヘルパー8名、登録ヘルパー8名を派遣

##### （1）介護保険事業

###### ア 居宅介護保険事業訪問介護

介護保険：要介護 35 件／月

###### イ 第一号訪問事業（訪問型サービス）

介護予防 54 件／月

##### （2）障がい福祉サービス事業

身体 4 件、知的 4 件、精神障害 4 件

### 【地域全体における在宅介護の基盤整備】

#### 1 家族介護者交流事業（委託元：つるぎ町地域支援事業）

日頃、在宅で家族の介護をされている方々を対象に、介護者同士の情報交換や介護をしている方の悩みなどを話し合い、心身ともにリフレッシュを図っていただくことを目的に実施。

##### 【第1回】

日 時：12／7（金）10：00～13：00

場 所：つるぎ町社会福祉協議会 小会議室

内 容：①「家族介護教室」～

講師：徳島県作業療法士会

伊月病院 山下 旭 氏

②お食事（昼食） ③情報交換 など

参加者：9名



**【第2回】**

日 時：平成31年3月8日（金）9：00～17：00

場 所：やすらぎの郷 四国健康村 香川県綾歌郡宇多津町浜1番丁6番地10

内 容：①情報交換 ②お食事（昼食） ③入浴及び演劇観覧 など

参加者：13名

※参加者の人数には講師・職員も含む。